

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社うかい

コード番号 7621 URL <http://www.ukai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大工原 正伸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 潮 一生

TEL 042-666-3333

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,178	△8.5	142	△64.3	59	△80.4	△33	—
21年3月期第2四半期	6,749	—	400	—	303	—	153	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△6.62	—
21年3月期第2四半期	30.19	29.26

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第2四半期	15,219	—	4,311	—	27.5	850.29
21年3月期	15,512	—	4,949	—	29.3	895.58

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 4,186百万円 21年3月期 4,550百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,380	△6.2	330	△45.5	140	△67.9	0	△100.0	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	5,229,940株	21年3月期	5,087,440株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	306,240株	21年3月期	6,240株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	5,120,831株	21年3月期第2四半期	5,081,320株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

景気動向が業績に与える影響については、現在精査中であり、現時点では通期業績予想につきまして、平成21年9月に発表した業績予想を修正せず、据え置いております。なお、上記の予想は、発表日(平成21年9月4日)現在において入手していた情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策等により一部で回復の兆しがみられるものの、対策一巡後の失速懸念や今後の為替動向、新型インフルエンザ流行による影響等、回復へのマイナス要因もあり、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、雇用・所得環境への不安等により個人消費の減少が依然として続いており、厳しい経営環境に直面しています。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては創業の原点に戻りお客様への最高の感動を提供するため、ホスピタリティの向上と最高の料理提供を重点施策として取組み、併せて全社的営業推進体制による既存店の強化を図ってまいりました。また、本年7月末日に「ウカイリゾート」を閉店し、そのコンセプトリニューアル店として本年9月3日に「GRILLうかい」を開店いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,178百万円（前年同四半期比8.5%減）、営業利益は減収に「GRILLうかい」の開業費等が加わり142百万円（同64.3%減）、経常利益は59百万円（同80.4%減）となりました。

また、平成22年秋に予定していました「日本橋とうふ屋うかい」（仮称）の出店中止にともなう損失77百万円を計上した結果、33百万円の四半期純損失（前年同四半期は四半期純利益153百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

〔飲食事業〕

飲食事業におきましては、売上高5,050百万円と前年同四半期比8.8%の減収となりました。

① 和食事業

「東京芝とうふ屋うかい」の開店以来4年連続の増収が貢献し、また、第2四半期（7月～9月）は回復基調にあり、売上高は前年同四半期比3.9%減、第2四半期累計（4月～9月）でも前年同四半期比4.4%の減収に止めることができました。

② 洋食事業

平成21年9月に開店した「GRILLうかい」は、計画通り順調に推移しておりますが、既存店では高価格帯での消費低迷による来客数及び客単価の減少に加え、同年7月の「ウカイリゾート」の閉店により、売上高は前年同四半期比13.4%の減収となりました。

〔文化事業〕

文化事業におきましては、第1四半期に引き続き「箱根ガラスの森」で『黄金時代のヴェネチアン・グラス展』、「河口湖オルゴールの森」で『河口湖オルゴールの森コンサート』の特別企画を軸に四季をからめたイベントの充実に力を入れ、更にTV・新聞等の媒体を活用した宣伝活動が功を奏し、第2四半期（7月～9月）の売上高は前年同四半期比2.5%減まで回復、第2四半期累計（4月～9月）では売上高1,127百万円、前年同四半期比7.1%の減収となりました。

なお、平成21年9月10日に公表しましたとおり、資本政策の一環として、平成21年9月11日に300,000株（555百万円）の自己株式を取得しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ292百万円減少し、15,219百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少86百万円、売掛金の減少43百万円、有形固定資産の減少82百万円等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ344百万円増加し、10,907百万円となりました。主な要因は、有利子負債が364百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ637百万円減少し、4,311百万円となりました。主な要因は、四半期純損失33百万円、剰余金の配当による減少50百万円、自己株式の取得による減少555百万円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し1,440百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は301百万円(前年同四半期は630百万円の獲得)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失20百万円、減価償却費281百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は110百万円(前年同四半期は197百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得、新店舗等の開設に伴う敷金・保証金の差し入れ等によるマイナス項目327百万円が、有形固定資産の売却、保険積立金の解約等によるプラス項目216百万円を上回ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は277百万円(前年同四半期は709百万円の支出)となりました。主な要因は、社債の発行・償還、借入の実行・返済により有利子負債が純額で332百万円の収入があったものの、自己株式の取得555百万円、配当金の支払い50百万円等の支出があったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気動向が業績に与える影響については、現在精査中であり、現時点では通期業績予想につきまして、平成21年9月4日に発表した業績予想を修正せず、据え置いております。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,024	1,526,553
売掛金	314,580	357,618
商品及び製品	184,979	182,731
原材料及び貯蔵品	227,838	228,709
繰延税金資産	69,973	89,807
その他	181,529	165,586
貸倒引当金	△177	△206
流動資産合計	2,418,748	2,550,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,143,579	11,309,010
減価償却累計額	△4,861,083	△4,779,503
減損損失累計額	—	△233,767
建物及び構築物(純額)	6,282,496	6,295,740
土地	2,589,708	2,677,708
建設仮勘定	3,545	7,040
美術骨董品	1,267,010	1,266,342
その他	1,151,762	1,125,055
減価償却累計額	△814,871	△803,203
減損損失累計額	—	△6,242
その他(純額)	336,890	315,609
有形固定資産合計	10,479,651	10,562,440
無形固定資産	43,840	36,611
投資その他の資産		
投資有価証券	20,436	20,182
繰延税金資産	1,121,636	1,101,341
敷金及び保証金	1,018,505	1,022,638
その他	116,580	218,260
投資その他の資産合計	2,277,158	2,362,422
固定資産合計	12,800,650	12,961,473
資産合計	15,219,399	15,512,274

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	256,107	279,772
1年内償還予定の社債	462,000	327,000
短期借入金	1,270,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,681,546	1,573,570
未払法人税等	23,298	29,533
賞与引当金	106,805	117,971
店舗閉鎖損失引当金	—	29,290
その他	646,500	618,856
流動負債合計	4,446,258	4,475,992
固定負債		
社債	1,235,500	719,000
長期借入金	4,642,531	4,821,343
退職給付引当金	565,659	539,723
その他	17,870	7,016
固定負債合計	6,461,560	6,087,083
負債合計	10,907,819	10,563,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,153,269
資本剰余金	1,836,412	1,698,674
利益剰余金	1,614,710	1,699,394
自己株式	△562,948	△7,948
株主資本合計	4,179,180	4,543,389
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,386	7,235
評価・換算差額等合計	7,386	7,235
新株予約権	34,691	310,023
少数株主持分	90,321	88,549
純資産合計	4,311,580	4,949,198
負債純資産合計	15,219,399	15,512,274

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	6,749,790	6,178,018
売上原価	3,065,539	2,879,422
売上総利益	3,684,251	3,298,596
販売費及び一般管理費		
役員報酬	109,080	110,348
給料及び手当	1,032,823	1,027,733
賞与引当金繰入額	71,455	61,606
退職給付費用	22,313	22,930
役員退職慰労引当金繰入額	8,201	—
賃借料	370,887	369,479
減価償却費	205,896	186,737
その他	1,463,412	1,376,799
販売費及び一般管理費合計	3,284,070	3,155,635
営業利益	400,180	142,960
営業外収益		
受取利息	831	2,549
受取配当金	340	245
保険解約返戻金	—	10,001
受取保険金	—	10,078
その他	8,455	10,976
営業外収益合計	9,626	33,850
営業外費用		
支払利息	100,284	93,396
社債発行費	—	17,568
その他	5,845	6,377
営業外費用合計	106,130	117,342
経常利益	303,677	59,469
特別利益		
固定資産売却益	528	625
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	7,400
保険差益	38,546	—
特別利益合計	39,074	8,026
特別損失		
固定資産除却損	4,425	4,049
固定資産売却損	—	6,450
たな卸資産評価損	15,391	—
災害による損失	9,382	—
出店計画中止損失	—	77,480
特別損失合計	29,199	87,979
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	313,552	△20,484
法人税、住民税及び事業税	28,300	12,180
法人税等調整額	114,994	△564
法人税等合計	143,294	11,616
少数株主利益	16,857	1,771
四半期純利益又は四半期純損失(△)	153,400	△33,872

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	313,552	△20,484
減価償却費	300,365	281,520
固定資産除却損	4,425	4,049
災害損失	9,382	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,582	25,936
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,201	—
受取利息及び受取配当金	△1,171	△2,794
支払利息	100,284	93,396
出店計画中止損失	—	77,480
保険差益	△38,546	—
保険解約返戻金	—	△10,001
売上債権の増減額(△は増加)	53,420	43,038
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,387	△1,376
仕入債務の増減額(△は減少)	△37,604	△23,664
未払消費税等の増減額(△は減少)	67,328	△51,174
その他	16,288	△18,874
小計	776,957	397,049
利息及び配当金の受取額	1,229	295
利息の支払額	△98,818	△86,253
災害損失の支払額	△7,283	—
法人税等の支払額	△42,083	△9,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	630,001	301,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,000	—
有形固定資産の取得による支出	△127,084	△236,242
有形固定資産の売却による収入	1,100	97,800
保険積立金の解約による収入	—	113,945
その他	△59,141	△85,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,126	△110,257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	950,000	1,100,000
短期借入金の返済による支出	△1,050,000	△1,330,000
長期借入れによる収入	300,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△690,034	△820,836
社債の発行による収入	—	882,431
社債の償還による支出	△168,500	△249,051
配当金の支払額	△50,544	△50,534
自己株式の取得による支出	—	△555,000
その他	△281	△4,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	△709,359	△277,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△276,555	△86,528
現金及び現金同等物の期首残高	1,339,741	1,526,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,063,185	1,440,024

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	飲食事業 (千円)	文化事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,536,279	1,213,511	6,749,790	—	6,749,790
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,536,279	1,213,511	6,749,790	—	6,749,790
営業利益	726,944	155,405	882,350	(482,169)	400,180

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	飲食事業 (千円)	文化事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,050,613	1,127,404	6,178,018	—	6,178,018
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,050,613	1,127,404	6,178,018	—	6,178,018
営業利益	529,225	102,236	631,461	(488,501)	142,960

(注) 1. 事業区分の方法

事業は形態別を考慮して区別しております。

2. 会計処理の方法

前第2四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」4.(3)2に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、文化事業で7,806千円減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

① 新株予約権の行使

当社は、平成21年6月25日に取締役2名の退任により株式報酬型ストックオプション1,425個（普通株式142,500株）が、平成21年6月30日付で行使されました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本金が137,737千円、資本準備金が137,737千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,291,007千円、資本準備金が1,836,412千円となっております。

② 自己株式の取得

当社は、取締役会決議に基づき、平成21年9月11日に自己株式を300,000株、555,000千円取得いたしました。なお、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は306,240株、562,948千円となっております。

6. その他の情報

該当事項はありません。